実践記録

「志津里山自然学校」プログラム④
「みんなで薪づくりにチャレンジ！」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2024.12.1 10:10～14:40	馬場町奥村但馬守館跡周辺の山林	40名＋4名 1期生　9名 2期生14名 3期生17名＋4名	4名 アイ・フォレストクラブ	23名 まち協 6名　「い自学」アドバイザー1名 市4名　ボランティアの会7名 レイカディア大学生5名

○スタッフ・ボランティアの会集合→打合せ→準備　8:40

○1・2期生集合・受付→役割説明(役割分担表配布)→準備　9:20

○参加者集合・受付　※受付で1・2期生子どもが「一人一役」の大活躍【写真①】 9:40


①

あいさつ・朝の交流タイム　10:00～10:20

■始まりの一言・・・水野

①「志津里山自然学校」山元校長の挨拶と講師紹介

②今日の予定説明・安全面に関する諸注意(我孫子様)

③「朝の交流タイム」・・・班リーダーが進行【写真②】 ※本プログラムより実施


②

井阪先生の話「薪(まき)の巻(まき)」　10:20～10:30

■講師・・・井阪尚司先生

■生物多様性の学び・・・生物多様性と人間生活との関わりを知る

クイズを出しながら生物多様性と人間生活との関わりについて説明【写真③】

クイズ①「木は○○に入れると強くなる」

クイズ②「木は○○に弱い」

クイズ③「木は○○を育てる」

- 多くの生物が集まる　➡多様な植物からなる植生は多様な生き物を宿すことができる
- 水をためる　➡自然災害の防止と私たちの生活に必要な水を提供することができる
- CO_2を吸収しO_2を供給する　➡生き物の生存を支える


③

クイズ④「暖房する時、薪、石油、電気ストーブのどれが一番暖かく感じる」

クイズ⑤「人は米を作る前は○の実などを集めていた」

- 木を燃やして出るCO2は植物が吸収するので大気中のCO2はプラスマイナスゼロ
- 昔は木を暮らしにいかしてきた

クイズ⑥「木は大切な「か○き○う」資源だ

- 柱や暖房のエネルギーに使える➡私たちの生活に必要な資源を提供する
- 健康になる➡自然景観などの美的な楽しみやレクレーションの場となる


④

焼き芋準備 ・・・ 新聞紙で包む→水にぬらす→アルミホイルで包む【写真④】 10:30～10:50

チェーンソーによる原木の玉切り見学　10:50～11:00

■講師・・・竹内将人先生(アイ・フォレストクラブ)

①玉切りの説明・・・針葉樹と広葉樹の特徴や燃え方の違いなど興味をそそる話も説明

②玉切りの見学・・・3種類の切り方を紹介(上から切る　下から切る　上下から切る)


⑤

薪割り機による薪割り体験　11:00～11:30

①薪割り体験の説明・・・竹内様より薪割り機の使い方や注意点を説明

②薪割り見学・・・アイ・フォレストクラブの方によるデモンストレーション

③薪割り体験・・・まず2期生親子のデモンストレーション　➡2グループに分かれ親子で体験【写真⑤】

実践記録

ランチタイム　11:30～12:20

焚火を囲みながら団らんのひとときを過ごす

今年度は焼き芋と飲み物(コーヒー　紅茶　お茶など)に加え豚汁を提供する


⑥

斧による薪割り見学　12:20～12:40

①薪割りの説明・・・ロルフ様より斧の使い方や安全面等について説明

②薪割り見学・・・ 薪割り場所から十分な距離をとり見学【写真⑥】

キンドリングクラッカーを使った薪割り体験　12:40～13:10

※キンドリングクラッカーとは初心者でも簡単に楽しく薪を割ることができる道具

①薪割りの説明・デモ・・・2組の2期生親子による説明とデモ【写真⑦】

※事前に我孫子様よりレクチャーを受ける

②各班で薪割り体験・・・各班のリーダーが中心となり活動する【写真⑧】


⑦

ほのぼのタイム　13:10～14:10

①焚火を囲み飲み物や食べ物(バームクーヘンなど)をいただきながら温もりを体感する【写真⑨ 】

②「志津里山支援学校ボランティアの会」の代表(岩井様)より活動紹介

③一人一言タイム　※山元校長より子どもたちへインタビュー【写真⑩】


⑧

振返り・振返り交流タイム・連絡　14:10～14:40

○「振返り交流タイム」・・・班リーダーが進行【写真⑪】 ※本プログラムより実施

○振返り・・・今日一日の活動を振返り用紙に記入(以下感想例)

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

・薪が割れた時の達成感があって楽しかった。みんなで焚火を囲って食べるサツマイモはおいしかった。

・子どもと一緒に自然に触れて薪割、焼き芋、豚汁、おやつが最高においしかったです。

・焼き芋や薪割などを体験できたことです。薪割は初めてしました。


⑨

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

・地球温暖化が進むのを止めるには木を植えればいいことが分かりました。

・新しい発見は木が二酸化炭素を吸ってくれることです。

・キンドリグクラッカーが子どもの力でも割れ楽しみながら何回も体験できたこと。

質問3　その他　思ったことなどは？

・この里山自然学校はいろいろなものに触れたり見たり班で行動したりと、いろいろな楽しさをを持っていると思った。みんな協力出来ていてすごかった。

・火を囲んでいろいろな話を聞けて良い時間になりました。

・子どもにとって薪割やマシュマロ焼きなど初めてのことばかりでいい経験となってよかったです。


⑩

1・2期生との振返り　14:40～15:00

■進行・・・政川様　記録・・・木村様

スタッフとして活躍した1・2期生保護者より成果や課題について率直な意見をいただく

・振返り交流タイムは3期生の発言の機会があったのでいい取組だと思った。続けた方がよい。

・「今日初めて参加した。いつもは父が・・　こんなことなら最初から参加したかった」との感想があった。

・子どもが楽しめるような活動も充実させたい。里山のお手伝いのような簡単なこともやらせてみたい。

・子どもの活動として、バケツ一杯にいろんなものを拾うことを班で競争するのも楽しい。

・危ない時に経験している1・2期生の子どもが注意できるとよい。子ども同士で注意し合えるとよい。

■本実践の評価は別紙参照　※別紙:令和6年度「志津里山自然学校」プログラム④の評価


⑪